

## サンゴ礁保全行動計画への記載項目・記載事項(案)

### 1. サンゴ礁の価値評価の目的

- サンゴ礁の価値評価を行う目的を記載する。例えば：
  - サンゴ礁の有する機能・価値を、できうる限り客観的な評価手法を用いて評価することで、サンゴ礁保全行動計画で必要とされる行動の、必要性の基礎的な考え方を提供すること。
  - 今後、サンゴ礁の価値の国民的理解の増進を図るための啓発・普及活動を展開する上での基礎を提供すること。

### 2. サンゴ礁の価値評価の基本的考え方

- 価値評価における基本的考え方について記載する。例えば：
  - サンゴ礁、サンゴ群集が存在することで発揮される機能（価値）及びサンゴ礁・サンゴ群集に依存して営まれる産業等が評価の対象。
  - サンゴ礁域、高緯度サンゴ群集域に分けて評価を実施。双方の価値や機能の類似性及び異なる点について概説する。
  - 「海洋」自体が持っている機能（価値）は評価の対象外。
  - 貨幣換算できる価値については可能な限り貨幣換算する（定量的評価）。
    - ✓ 一般の人でも理解しやすいよう、貨幣手法等はできるだけ単純化する。
    - ✓ 貨幣換算手法の限界には留意する。
  - 貨幣換算できない価値については、可能な限り文章で記載に努める。（定性的評価）

### 3. サンゴ礁生態系の価値・機能の分類

- サンゴ礁生態系の有する機能及び、人間がサンゴ礁生態系から受ける恩恵（価値）を整理した表を掲載。表には、水産庁（2002）「多面的機能評価等にかかる調査等報告書」の37ページ（表0.4.2）と同様に、価値・機能の内容、現状を記し、定量的評価を行うものについては、評価手法等を概説する。
- 上記表における価値・機能項目の関係性をフローにまとめる。
- 価値・機能分類の考え方を解説する。

### 4. サンゴ礁生態系の定量的評価

- 貨幣換算の対象とする評価項目について、下記を記載する。
  - 定量的評価の考え方
  - 計算手法（計算式）
  - 使用したデータ及びデータの出典
  - 計算結果

### 5. サンゴ礁生態系の定性的評価

- 貨幣換算を行わない価値・機能項目ごとに、文章で記載し説明する。